



平成 29 年 3 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ  
代表者名 代表取締役社長 リム・キム・リン  
(コード：9704、東証第1部)  
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹  
(TEL. 03-3436-1860)

### (訂正) 資本金および資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 24 日付「資本金および資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」について訂正がありましたのでお知らせします。

#### 1. 資本金及び資本準備金の額減少並びに利益剰余金処分の目的

訂正内容（訂正箇所は下線を付して表示しております。）

(訂正前)

当社は、前事業年度末において繰越利益剰余金の欠損額 6,307,238,068 円を計上するに至っております。つきましては、前事業年度末日においてその他資本剰余金の残高はなく、その他利益剰余金はマイナスであることから、会社法第 447 条第 1 項および会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本金および資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替え、振替後のその他資本剰余金の全額を処分して繰越利益剰余金に振り替えることによって、この欠損金を填補し、当該自己株式取得の財源とするとともにまた、資本政策の柔軟性および機動性を確保し、早期復配体制の実現を目的とするものであります。

なお、資本金および資本準備金の額の減少によって、発行済株式総数は減少いたしませんので、株主の皆様のお所有株式数に影響を与えるものではありません。

また、当社の純資産にも変更はございませんので、1 株当たり純資産額に変更が生じるものでもございません。

(訂正後)

当社は、前事業年度末において繰越利益剰余金の欠損額 6,307,238,068 円を計上するに至っております。つきましては、前事業年度末日においてその他資本剰余金の残高はなく、その他利益剰余金はマイナスであることから、会社法第 447 条第 1 項および会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本金および資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替え、振替後のその他資本剰余金の一部を処分して繰越利益剰余金に振り替えることによって、この欠損金を填補し、当該自己株式取得の財源とするとともにまた、資本政策の柔軟性および機動性を確保し、早期復配体制の実現を目的とするものであります。

なお、資本金および資本準備金の額の減少によって、発行済株式総数は減少いたしませんので、株主の皆様への所有株式数に影響を与えるものではありません。

また、当社の純資産にも変更はございませんので、1株当たり純資産額に変更が生じるものでもございません。

#### 4. 剰余金処分の要領

訂正内容（訂正箇所は下線を付して表示しております。）

（訂正前）

（1）減少する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 8,000,000,000円

（2）増加する剰余金の項目及び額

繰越利益剰余金 8,000,000,000円

（3）剰余金の処分が効力を生ずる日

平成29年3月29日

（単位：円）

	処分前残高	増加額	減少額	処分後残高
資本金	11,450,385,224	—	3,000,000,000	8,450,385,224
資本準備金	5,140,511,782	—	5,000,000,000	140,511,782
その他資本剰余金	—	<u>8,000,000,000</u>	<u>8,000,000,000</u>	—
繰越利益剰余金	△6,307,238,068	<u>8,000,000,000</u>	—	<u>1,692,761,932</u>

（訂正後）

（1）減少する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 6,307,238,068円

（2）増加する剰余金の項目及び額

繰越利益剰余金 6,307,238,068円

（3）剰余金の処分が効力を生ずる日

平成29年3月29日

（単位：円）

	処分前残高	増加額	減少額	処分後残高
資本金	11,450,385,224	—	3,000,000,000	8,450,385,224
資本準備金	5,140,511,782	—	5,000,000,000	140,511,782
その他資本剰余金	—	<u>8,000,000,000</u>	<u>6,307,238,068</u>	<u>1,692,761,932</u>
繰越利益剰余金	△6,307,238,068	<u>6,307,238,068</u>	—	—

以上